

# 福島県沿岸における 2000～2010 年のトラフグ漁獲位置

福島県水産資源研究所 種苗研究部

## 1 部門名

水産業－栽培漁業－その他魚種（海）

## 2 担当者名

平川直人

## 3 要旨

福島県沿岸におけるトラフグ分布を明らかにするため、標本船操業日誌を用いて漁獲位置の分析を行った。その結果、震災以前の 2000～2010 年トラフグは、1～4 月は漁獲数が多く、県中央部から南部の海域で多く漁獲された(図 1)。5～8 月は漁獲数が減少し、さらに 7～8 月の漁獲は北部海域のみであった。9～12 月は、漁獲数が徐々に増加し、南部での漁獲が増えていった。また、漁獲位置と底水温の関係では、周年的に底水温が変化中、各月とも底水温の高い海域で漁獲が多く確認された (図 2)。

- (1) トラフグ漁獲位置の分析は、2000～2010 年標本船操業日誌における日時、操業位置の記録を用いた。また、トラフグ漁獲記録数を分布の指標とした。
- (2) 分析に用いた底水温は、いわき丸が福島県沿岸で観測した 2000～2010 年底水温の各月各地点の平均値を用いた。
- (3) 相双地区におけるトラフグはえなわ漁 CPUE(単位努力量あたりの漁獲量)は、水温と相関があり、9～11月に高く、その後、低下した(岩崎, 2022)。これは、本研究と同様の傾向であり、福島県沿岸におけるトラフグは水温に応じて、分布を変化させることが示唆された。

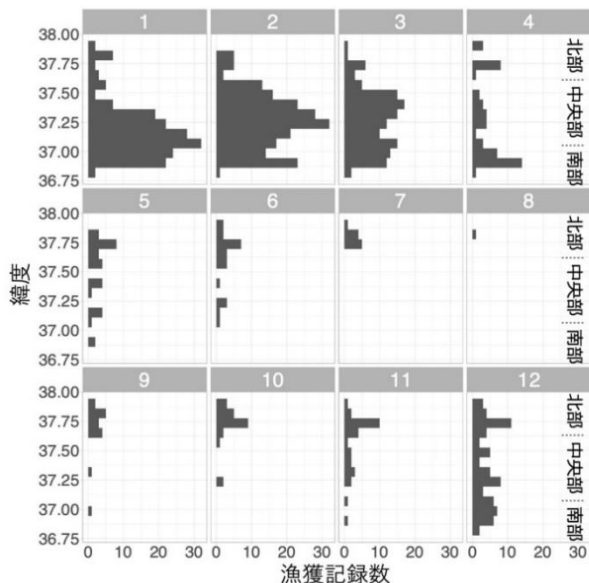


図 1 2000-2010 年トラフグ月別漁獲緯度

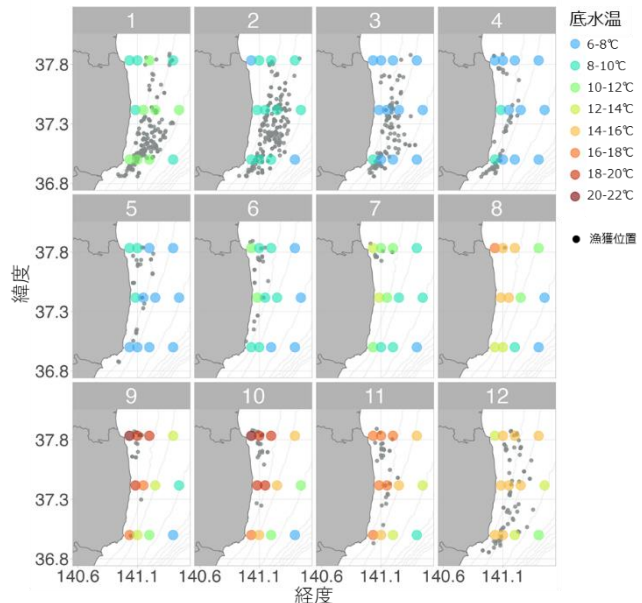


図 2 2000-2010 年月別トラフグ漁獲位置と平均底水温

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 栽培漁業対象種の放流技術に関する研究

## 5 主な参考文献・資料

- (1) はえなわ漁業によるトラフグの漁獲実態 (令和 4 年度普及成果)